

8

単分量あたりの大きさ(2)

→7へ

年 組 番 名前

わたしたちの生活の中では、「1個あたり いくら」、「1ふくろあたり いくつ」というように、単分量あたりの大きさを調べてくらべることがよくあります。

この場合の「1個」や「1ふくろ」といった、もとになる量のことを「**単分量**」といいます。

練習1 A、B 2台の自動車があります。Aの自動車は、45Lで500km走れます。Bの自動車は、50Lで600km走れます。

①どちらの自動車のほうが、ガソリン1Lあたりで長い距離を走れるでしょう。

式 A $500 \div 45 = 11.111\dots$

B $600 \div 50 = 12$

答え の自動車のほうが、ガソリン1Lあたりで長い距離を走れる。

②どちらの自動車のほうが、1km走るのに多くガソリンを使うでしょう。

式 A $45 \div 500 = 0.09$

B $50 \div 600 = 0.08333\dots$

答え の自動車のほうが、1km走るのに、ガソリンを多く使う。

練習2 たかしさんの家では10本のりんごの木から4800個のりんごがとれました。あやかさんの家では12本のりんごの木から5000個のりんごがとれました。どちらの家のほうがよくとれたといえますか。1本あたりにできたりんごの数でくらべましょう。

式 たかしさん $4800 \div 10 = 480$

あやかさん $5000 \div 12 = 416.66\dots$

答え の家のほうが、よくとれたといえる。

練習3 Aの魚屋さんでは、4尾のさんまを640円で売っています。Bの魚屋さんでは、6尾のさんまを900円で売っています。どちらの店のほうが安いですか。1尾あたりの値段でくらべましょう。

式 A $640 \div 4 = 160$

B $900 \div 6 = 150$

答え の魚さんのほうが安い。